

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成21年11月5日(2009.11.5)

【公開番号】特開2006-122265(P2006-122265A)

【公開日】平成18年5月18日(2006.5.18)

【年通号数】公開・登録公報2006-019

【出願番号】特願2004-313155(P2004-313155)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成21年9月11日(2009.9.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の図柄の変動表示が可能な図柄表示装置を備え、図柄始動条件が成立すると前記図柄表示装置に複数の図柄が変動表示され、その後停止される複数の図柄の表示態様によって遊技者に特典付与の可否を認識させる遊技機であって、

前記複数の図柄の変動表示においてリーチ態様を導出するか否かを判定するリーチ態様判定手段と、

該リーチ態様判定手段が前記リーチ態様を導出する旨を判定したとき、前記特典付与の可否に基づいて、前記リーチ態様を導出した後に前記特典付与に対する期待度を告知する複数種類のリーチ演出から、いずれかのリーチ演出を決定するリーチ演出決定手段と、

前記リーチ態様判定手段の判定結果及び前記リーチ演出決定手段の決定結果に基づいて、前記リーチ態様の導出タイミングよりも前に所定の予告演出を実行するか否かを決定する予告演出決定手段と、

少なくとも前記複数の図柄の変動表示、前記リーチ演出及び前記予告演出が含まれた前記特典付与の可否に関わる情報を前記図柄表示装置に表示制御する情報表示制御手段と、

該情報表示制御手段による情報が表示される全域が視認困難又は視認不可能となるように前記図柄表示装置に表示される情報を所定時間、隠滅制御する表示隠滅制御手段と、を備え、

前記情報表示制御手段は、

前記予告演出決定手段が前記予告演出を実行しない旨を決定したとき、前記表示隠滅制御手段により前記図柄表示装置に表示される情報を隠滅し、所定時間経過後に当該情報の隠滅を終了するように前記図柄表示装置を表示制御する非予告演出時表示制御手段と、

前記予告演出決定手段が前記予告演出を実行する旨を決定したとき、前記表示隠滅制御手段により前記図柄表示装置に表示される情報を隠滅した後、当該情報を隠滅した期間に前記予告演出を実行することで、前記図柄表示装置に表示される情報が一時的に視認可能となるように前記図柄表示装置を表示制御する予告演出時表示制御手段と、を含むことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記情報表示制御手段は、前記予告演出の実行に基づき、前記リーチ態様を形成する図柄が各々停止するタイミングで、前記図柄表示装置に表示された情報のうち少なくとも停

止した図柄が視認可能となるように前記図柄表示装置を表示制御することを特徴とする請求項１記載の遊技機。

【請求項３】

複数の図柄の変動表示が可能な図柄表示装置を備え、図柄始動条件が成立すると前記図柄表示装置に複数の図柄が変動表示され、その後に停止される複数の図柄の表示態様によって遊技者に特典付与の可否を認識させる遊技機であって、

遊技の進行を制御する主制御手段と、

少なくとも前記図柄表示装置を制御する周辺制御手段と、を備え、

前記主制御手段は、

前記複数の図柄の変動表示においてリーチ態様を導出するか否かを判定するリーチ態様判定手段と、

該リーチ態様判定手段が前記リーチ態様を導出する旨を判定したとき、前記特典付与の可否に基づいて、前記リーチ態様を導出した後に前記特典付与に対する期待度を告知する複数種類のリーチ演出から、いずれかのリーチ演出を決定するリーチ演出決定手段と、

前記リーチ態様判定手段の判定結果及び前記リーチ演出決定手段の決定結果に関するコマンド信号を前記周辺制御手段に送信するコマンド信号送信手段と、を備え、

前記周辺制御手段は、

前記コマンド信号送信手段により送信されたコマンド信号に基づいて、前記リーチ態様の導出タイミングよりも前に所定の予告演出を実行するか否かを決定する予告演出決定手段と、

少なくとも前記複数の図柄の変動表示、前記リーチ演出及び前記予告演出が含まれた前記特典付与の可否に関わる情報を前記図柄表示装置に表示制御する情報表示制御手段と、

該情報表示制御手段による情報が表示される全域が視認困難又は視認不可能となるように前記図柄表示装置に表示される情報を所定時間、隠滅制御する表示隠滅制御手段と、を備え、

前記情報表示制御手段は、

前記予告演出決定手段が前記予告演出を実行しない旨を決定したとき、前記表示隠滅制御手段により前記図柄表示装置に表示される情報を隠滅し、所定時間経過後に当該情報の隠滅を終了するように前記図柄表示装置を表示制御する非予告演出時表示制御手段と、

前記予告演出決定手段が前記予告演出を実行する旨を決定したとき、前記表示隠滅制御手段により前記図柄表示装置に表示される情報を隠滅した後、当該情報を隠滅した期間に前記予告演出を実行することで、前記図柄表示装置に表示される情報が一時的に視認可能となるように前記図柄表示装置を表示制御する予告演出時表示制御手段と、を含むことを特徴とする遊技機。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００１】

本発明は、複数の図柄の変動表示が可能な図柄表示装置を備え、図柄始動条件が成立すると前記図柄表示装置に複数の図柄が変動表示され、その後に停止される複数の図柄の表示態様によって遊技者に特典付与の可否を認識させる遊技機に関するものである。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

上記目的を達成するために、請求項１に係る発明においては、複数の図柄（例えば、左

・中・右の装飾図柄 80 a ~ 80 c) の変動表示が可能な図柄表示装置 (例えば、液晶表示器 42) を備え、図柄始動条件 (例えば、始動入賞口 45 又は電動始動入賞口 46 への入賞) が成立すると前記図柄表示装置に複数の図柄が変動表示され、その後停止される複数の図柄の表示態様によって遊技者に特典付与 (例えば、大当り遊技) の可否を認識させる遊技機 (例えば、パチンコ機 1) であって、前記複数の図柄の変動表示においてリーチ態様を導出するか否かを判定するリーチ態様判定手段 (例えば、変動表示パターン設定処理の S 41 で大当りとするか、S 44 ではずれであってもリーチとするか否かを判定する制御) と、該リーチ態様判定手段が前記リーチ態様を導出する旨を判定したとき、前記特典付与の可否に基づいて、前記リーチ態様を導出した後に前記特典付与に対する期待度 (例えば、大当り信頼度) を告知する複数種類のリーチ演出 (例えば、ノーマルリーチ演出、スーパーリーチ演出及びスーパーリーチ発展演出) から、いずれかのリーチ演出を決定するリーチ演出決定手段 (例えば、変動表示パターン設定処理の S 43 で大当り時変動表示パターンテーブル、リーチ時変動表示パターンテーブル又ははずれ時変動表示パターンテーブルを用いて、変動番号 3 ~ 35 の変動表示パターンのうちいずれかの変動表示パターンに決定する制御) と、前記リーチ態様判定手段の判定結果及び前記リーチ演出決定手段の決定結果に基づいて、前記リーチ態様の導出タイミングよりも前に所定の予告演出 (例えば、稲妻フラッシュ予告) を実行するか否かを決定する予告演出決定手段 (例えば、予告選択処理のステップ S 125 で昼背景用稲妻予告パターンテーブル又は夜背景用稲妻予告パターンテーブルを用いて、演出番号 1 ~ 6 の稲妻予告パターンから演出番号 4, 5 の稲妻予告パターンに決定するか否かの制御) と、少なくとも前記複数の図柄の変動表示、前記リーチ演出及び前記予告演出が含まれた前記特典付与の可否に関わる情報 (例えば、左・中・右の装飾図柄 80 a ~ 80 c の変動表示やキャラクタ 70 等) を前記図柄表示装置に表示制御する情報表示制御手段 (例えば、変動表示パターンに基づいて左・中・右の装飾図柄 80 a ~ 80 c の変動表示やリーチ演出を液晶表示器 42 に表示する制御や、稲妻予告パターンに基づいて予告演出を液晶表示器 42 に表示する制御) と、該情報表示制御手段による情報が表示される全域が視認困難又は視認不可能となるように前記図柄表示装置に表示される情報を所定時間 (例えば、1 ~ 2 秒)、隠滅制御する表示隠滅制御手段 (例えば、演出番号 1 ~ 6 の稲妻予告パターンに基づくブラックアウト演出として暗転画像 83 を液晶表示器 42 に表示する制御) と、を備え、前記情報表示制御手段は、前記予告演出決定手段が前記予告演出を実行しない旨を決定したとき、前記表示隠滅制御手段により前記図柄表示装置に表示される情報を隠滅し、所定時間経過後に当該情報の隠滅を終了するように前記図柄表示装置を表示制御する非予告演出時表示制御手段 (例えば、演出番号 1, 2 の稲妻予告パターンに基づくブラックアウトガセ演出として暗転画像 83 を液晶表示器 42 に表示する制御) と、前記予告演出決定手段が前記予告演出を実行する旨を決定したとき、前記表示隠滅制御手段により前記図柄表示装置に表示される情報を隠滅した後、当該情報を隠滅した期間に前記予告演出を実行することで、前記図柄表示装置に表示される情報が一時的に視認可能となるように前記図柄表示装置を表示制御する予告演出時表示制御手段 (例えば、演出番号 4, 5 の稲妻予告パターンに基づいて演出ランプ 44 を点滅すると共に、暗転画像 83 に稲妻 (雷) を走らせる稲妻フラッシュ予告が行われることにより、稲妻 87 に照らされることで、左の装飾図柄 80 a 又は左・右の装飾図柄 80 a, 80 c が浮かび上がるように停止表示される制御) と、を含むことを特徴とする。

また、請求項 2 に係る発明においては、前記情報表示制御手段は、前記予告演出の実行に基づき、前記リーチ態様を形成する図柄が各々停止するタイミングで、前記図柄表示装置に表示された情報のうち少なくとも停止した図柄が視認可能となるように前記図柄表示装置を表示制御 (例えば、稲妻 87 に照らされることで、左の装飾図柄 80 a 又は左・右の装飾図柄 80 a, 80 c が暗転画像 83 に浮かび上がるように停止表示される制御。図 23 (C) 及び図 24 (E) 参照) することを特徴とする。

また、請求項 3 に係る発明においては、複数の図柄 (例えば、左・中・右の装飾図柄 80 a ~ 80 c) の変動表示が可能な図柄表示装置 (例えば、液晶表示器 42) を備え、図

柄始動条件（例えば、始動入賞口４５又は電動始動入賞口４６への入賞）が成立すると前記図柄表示装置に複数の図柄が変動表示され、その後に停止される複数の図柄の表示態様によって遊技者に特典付与（例えば、大当り遊技）の可否を認識させる遊技機（例えば、パチンコ機１）であって、遊技の進行を制御する主制御手段（例えば、主制御基板１０１）と、少なくとも前記図柄表示装置を制御する周辺制御手段（例えば、サブ統合基板１１１）と、を備え、前記主制御手段は、前記複数の図柄の変動表示においてリーチ態様を導出するか否かを判定するリーチ態様判定手段（例えば、変動表示パターン設定処理のＳ４１で大当りとするか、Ｓ４４ではずれであってもリーチとするか否かを判定する制御）と、該リーチ態様判定手段が前記リーチ態様を導出する旨を判定したとき、前記特典付与の可否に基づいて、前記リーチ態様を導出した後に前記特典付与に対する期待度（例えば、大当り信頼度）を告知する複数種類のリーチ演出（例えば、ノーマルリーチ演出、スーパーリーチ演出及びスーパーリーチ発展演出）から、いずれかのリーチ演出を決定するリーチ演出決定手段（例えば、変動表示パターン設定処理のＳ４３で大当り時変動表示パターンテーブル、リーチ時変動表示パターンテーブル又ははずれ時変動表示パターンテーブルを用いて、変動番号３～３５の変動表示パターンのうちいずれかの変動表示パターンに決定する制御）と、前記リーチ態様判定手段の判定結果及び前記リーチ演出決定手段の決定結果に関するコマンド信号を前記周辺制御手段に送信するコマンド信号送信手段（例えば、情報出力処理で特別図柄及び装飾図柄の変動表示に係る各種情報をサブ統合基板１１１に出力する制御）と、を備え、前記周辺制御手段は、前記コマンド信号送信手段により送信されたコマンド信号に基づいて、前記リーチ態様の導出タイミングよりも前に所定の予告演出（例えば、稲妻フラッシュ予告）を実行するか否かを決定する予告演出決定手段（例えば、予告選択処理のステップＳ１２５で昼背景用稲妻予告パターンテーブル又は夜背景用稲妻予告パターンテーブルを用いて、演出番号１～６の稲妻予告パターンから演出番号４，５の稲妻予告パターンに決定するか否かの制御）と、少なくとも前記複数の図柄の変動表示、前記リーチ演出及び前記予告演出が含まれた前記特典付与の可否に関わる情報（例えば、左・中・右の装飾図柄８０ａ～８０ｃの変動表示やキャラクタ７０等）を前記図柄表示装置に表示制御する情報表示制御手段（例えば、変動表示パターンに基づいて左・中・右の装飾図柄８０ａ～８０ｃの変動表示やリーチ演出を液晶表示器４２に表示する制御や、稲妻予告パターンに基づいて予告演出を液晶表示器４２に表示する制御）と、該情報表示制御手段による情報が表示される全域が視認困難又は視認不可能となるように前記図柄表示装置に表示される情報を所定時間（例えば、１～２秒）、隠滅制御する表示隠滅制御手段（例えば、演出番号１～６の稲妻予告パターンに基づくブラックアウト演出として暗転画像８３を液晶表示器４２に表示する制御）と、を備え、前記情報表示制御手段は、前記予告演出決定手段が前記予告演出を実行しない旨を決定したとき、前記表示隠滅制御手段により前記図柄表示装置に表示される情報を隠滅し、所定時間経過後に当該情報の隠滅を終了するように前記図柄表示装置を表示制御する非予告演出時表示制御手段（例えば、演出番号１，２の稲妻予告パターンに基づくブラックアウトガセ演出として暗転画像８３を液晶表示器４２に表示する制御）と、前記予告演出決定手段が前記予告演出を実行する旨を決定したとき、前記表示隠滅制御手段により前記図柄表示装置に表示される情報を隠滅した後、当該情報を隠滅した期間に前記予告演出を実行することで、前記図柄表示装置に表示される情報が一時的に視認可能となるように前記図柄表示装置を表示制御する予告演出時表示制御手段（例えば、演出番号４，５の稲妻予告パターンに基づいて演出ランプ４４を点滅すると共に、暗転画像８３に稲妻（雷）を走らせる稲妻フラッシュ予告が行われることにより、稲妻８７に照らされることで、左の装飾図柄８０ａ又は左・右の装飾図柄８０ａ，８０ｃが浮かび上がるように停止表示される制御）と、を含むことを特徴とする。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

請求項1に係る発明においては、特典付与（例えば、大当り遊技や確率変動等）の可否に関わる情報が表示される全域が、表示隠滅制御手段により視認困難又は視認不可能となるように所定時間、隠滅制御されることにより、遊技者が複数の図柄の変動表示に注目することができなくなり、図柄表示装置に表示される複数の図柄の変動表示以外の予告演出を意識させることができる。従って、複数の図柄の変動表示以外の予告演出を意識させることで、遊技者が長時間、遊技を行ったとしても遊技が単調となることなく、遊技の興趣の低下を抑制することができる。また、予告演出決定手段が予告演出を実行する旨を決定したときだけでなく、予告演出を実行しない旨を決定したときにも、表示隠滅制御手段により図柄表示装置に表示される情報を隠滅することにより、図柄表示装置に表示される情報を隠滅した後に予告演出が実行されるとは限らず、図柄表示装置に表示される情報を隠滅した後も図柄表示装置に注目させることができる。

また、請求項2に係る発明においては、予告演出の実行に基づき、リーチ態様を形成する図柄が各々停止するタイミングで、表示領域に表示された情報のうち少なくとも停止した図柄が視認可能となるように表示領域を表示制御することにより、予告演出が図柄表示装置に表示される情報の隠滅ならではの演出であり、通常のリーチ態様の形成時には表示されることのない予告演出に注目させることができる。

また、請求項3に係る発明においては、コマンド信号送信手段により送信されたコマンド信号に基づいて、リーチ態様の導出タイミングよりも前に所定の予告演出を実行する可否かを決定することができる。また、特典付与（例えば、大当り遊技や確率変動等）の可否に関わる情報が表示される全域が、表示隠滅制御手段により視認困難又は視認不可能となるように所定時間、隠滅制御されることにより、遊技者が複数の図柄の変動表示に注目することができなくなり、図柄表示装置に表示される複数の図柄の変動表示以外の予告演出を意識させることができる。従って、複数の図柄の変動表示以外の予告演出を意識させることで、遊技者が長時間、遊技を行ったとしても遊技が単調となることなく、遊技の興趣の低下を抑制することができる。また、予告演出決定手段が予告演出を実行する旨を決定したときだけでなく、予告演出を実行しない旨を決定したときにも、表示隠滅制御手段により図柄表示装置に表示される情報を隠滅することにより、図柄表示装置に表示される情報を隠滅した後に予告演出が実行されるとは限らず、図柄表示装置に表示される情報を隠滅した後も図柄表示装置に注目させることができる。